

# ROSE

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ  
2025 Spring Vol.131

TAKE  
FREE  
無料



INTERVIEW

## ジェイコブ・コーラー

Jacob Koller

# ROSE

■ 富士市文化会館ロゼシアター 「情報誌ロゼ」 2025年2月発行(第131号・春号)  
■ 発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■ 企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タムラデザイン



# ジェイコブ・コーラー

Jacob Koller / piano

米国アリゾナ州・フェニックス生まれ。  
高校入学前にアリゾナ・ヤマハ・ピアノ・コンクール  
を含む10以上のクラシック・ピアノ・コンクールで  
優勝する。その後、高校でジャズの才能を開花させ、  
アリゾナ州立大学入学後は、ジャズの作曲コン  
クールなどで絶賛される。  
また、2007年には「COLE PORTER JAZZ  
PIANO FELLOWSHIP」でファイナリストとなる。  
2009年移住と共に日本での活動を開始。  
2015年テレビ朝日の番組「関ジャニの仕分け」内  
「ピアノ王決定戦」で優勝し、一躍知名度を上げる。  
毎年多くのホール公演を行う現在日本で最も注目  
されるジャズピアニストの一人。  
リーダー作は25枚を超える。

2024年6月に催された

「ジェイコブ・コーラー ピアノソロコンサート」は  
チケットが完売する大人気の公演でした。  
好評に応え開催されるアンコール公演について、  
ジェイコブ・コーラーさんにお話を伺いました。

前回のインタビューはこちら



ロゼシアター  
on demand

ロゼシアターのさまざまな情報を  
デジタルコンテンツでお届け！  
最新情報の一部をご紹介します。

## ～YouTube Vol.12～

2020年にスタートしたYouTube「ロゼシアターチャンネル」では、現在約160本の動画を公開しています。ロゼシアターの主催する市民ミュージカルのほか、市民演奏家によるコンサートやアウトリーチ事業の様子などをお届けしています。

## ロゼこどもスプリングコンサート ロゼこどもコンサート



「ロゼこどもスプリングコンサート」と「ロゼこどもコンサート」は、例年春と夏に開催する、0歳から入場できる小さなお子さま向けのコンサートです。2024年4月13日に催したこどもスプリングコンサートと7月20日のこどもコンサートの模様をお楽しみください。

出演 ロゼこどもスプリングコンサート：アンサンブルローズ  
ロゼこどもコンサート：富士クラシック協会

## おでかけロゼシアター



「おでかけロゼシアター」は、文化会館を飛び出して公共施設などにアーティストが出向き、地域の皆さんの目の前で生演奏をお届けする企画です。11月16日開催のコンサートの模様をお楽しみください。

出演 EurekaBrass(エウレカブラス)



チャンネル登録をお願いします！！  
YouTube「ロゼシアターチャンネル」





撮影は山梨県のジェイコブ・コーラーさんのお宅で行いました。

## 今回のコンサートは どのようなものになりますか。

今回は、ピアノ・ソロをお楽しみいただく第一部と、ベースとドラマーを加えたピアノ・トリオでお届けする第二部の、編成が異なる二部構成でお贈りします。  
コンセプトは前回と同様、ジャズファンだけでなく、どなたでも楽しめる、幅広い層のお客様に向けたオール・ジャンルのジャズアレンジコンサートです。

プログラムは、僕のオリジナル曲のほか、ジャズのスタンダードナンバー、スタジオジブリなどのアニメソング、国内外のポピュラーミュージックを含む、多くの方がご存じの名曲の数を演奏します。新しいレパートリーとして、シヨパンやベートーヴェンなど、クラシックの名曲のジャズアレンジも用意しているので、より一層、お楽しみいただけるコンサートになっています。

## ソロとトリオにはどのような 違いがあるのでしょうか。

ソロとトリオではプレイヤーとして臨む姿勢にも、観客の楽しみ方にも、ずいぶん違いがあります。

ソロは即興の部分もありますが、今のベストパフォーマンスだとあらかじめ決めたアレンジを演奏します。練習してきたことを全てを披露するのが楽しく、やりがいがあります。ベースラインやハーモニーも全て一人で演奏するので、「二人でフルオーケストラ」といったイメージで演奏しています。

中からベースとドラムを加えたトリオで演奏するので、一つの公演の中に二種類の異なる楽しみ方があります。編成が変わるとメリハリがでて、さらに盛り上がるので、より一層楽しんでいただけたらと思います。

ピアノ・ソロとピアノ・トリオの、メリハリのあるコンサートに、皆さまぜひ、お越しください。

## ありがとうございました。

取材・文／篠原 正人  
撮影／長橋 睦

## お客様に向けてひとこと お願いします。

はじめてご来場いただく皆さん、僕のコンサートは、オールジャンルの選曲でお贈りしています。国内外の有名曲、ジャズの名曲やクラシック。多くの方が知っている曲だけでなく、ジャズアレンジされて、聴いたことのないような新鮮な演奏を楽しんでいただきたいです。ぜひチャレンジしてみてください。

前回お越しいただいた皆さん、今回の公演では、新しい曲をたくさん演奏するのでぜひ聴いて、楽しんでください。  
このコンサートはソロからはじまって、途

ドラマーで、ビジュアルも「The ジャズマン」って感じでカッコいい。多彩なグルーブを生み出す、腕のいいドラマーです。

ベースの川村竜は柴田亮からの紹介です。ドラムとベースは連動しているので、彼が信頼するベースストを呼んでもらいました。今回初めてセッションするプレイヤーなので、どんなケミストリーが生じるかわくわくしています。

## プログラムの具体的な曲目を 教えてください。

オリジナル曲では、二月リリースの『平和』をテーマにしたアルバムからタイトルトラックと数曲、どれも新曲を演奏する予定です。

その他の楽曲も全曲、前回のコンサートとは違う曲をお楽しみいただくつもりです。

前回のコンサートでは富士山をテーマにした『富士五湖』がたいへん好評でした。今回はじめて来場されるお客様にも聴いていただきたいです。

喜んでいただけて嬉しいです。それなら、今回はピアノ・トリオ・アレンジの『富士五湖』を演奏しましょう。はじめての方はもちろん、前回来ていただいた方にも違うバージョンを楽しんでいただきたいです。



ピアノ・トリオとはピアノ、ベース、ドラムの三つの楽器によるジャズの基礎となる編成です。それぞれの主な役割は、ベースストが低音のベースラインを弾きリズムをキープして、ドラマーがリズム、グルーブを生み出して、ピアノがハーモニーやメロディを弾きます。

この三つの楽器がそろうことで、メロディ、ハーモニー、ベースライン、リズム、音楽の要素すべてがそろった編成になります。ピアノ・トリオの名盤は数多く発表されていて、僕も大好きなキース・ジャレットやビル・エヴァンスが特に有名です。ちなみに、ジャズバンドとはこのピアノ・トリオをベースに、サクソフーンやヴォーカルを加え編成したものです。

トリオの場合は、ベースとドラムが入るので、もっと自由な即興が出来るようになります。ベースラインがあり、ドラムのビートがあり、その上に乗っかり演奏できるので、遊び心のある、より自由な演奏ができるんです。また、それぞれの楽器のソロパートでは、トレーディング(※)だったり、ベースソロに僕が伴奏したり、音楽的なコミュニケーションが出来ます。

(※)主にドラムソロで用いられる、ドラムと他の楽器が小節を分けて交互に演奏する掛け合い。国内では「ベース」には小節数が入る」と表現することが多い。

## トリオのメンバーについて 教えてください。

ドラマーの柴田亮とは数年ぶりにセッションします。モダンなリズムをかつこよく叩く



### 公演情報

## ジェイコブ・コーラー・トリオ プレミアム・ライブ

【日時】2025年7月13日(日) 開場14:00 開演14:30

【会場】富士市文化会館口ゼシアター 中ホール

【出演】ジェイコブ・コーラー(Jacob Koller) / ピアノ

川村 竜(Ryu Kawamura) / ベース

柴田 亮(Ryo Shibata) / ドラムス

【入場料】(全席指定・税込)

一般3,800円 学生1,900円

※未就学児入場不可 ※学生券は25歳以下対象

【発売日】4月24日(木)10:00~ ※窓口販売は4月25日(金)10:00~

# EVENT SCHEDULE

## 2025

イベントスケジュール 2025年  
ロゼシアター主催・共催事業のご案内

7月

### ジェイコブ・コーラー・トリオ プレミアム・ライヴ

日時: 7月13日(日)  
開場 14:00 開演 14:30  
会場: 中ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
一般 3,800円 学生 1,900円  
※未就学児入場不可

発売日  
WEB: 4月24日(木)  
窓口: 4月25日(金)



7月

### 劇団四季ミュージカル 『赤毛のアン』

日時: 7月24日(木)  
開場 17:45 開演 18:30  
会場: 大ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
S席 10,000円 A席 8,000円 B席 5,000円  
※3歳以上有料(ひざ上鑑賞不可)・3歳未満入場不可

発売日  
WEB: 4月13日(日)  
窓口: 4月14日(月)



「2025年度速報」最新情報はロゼシアターホームページで随時告知 乞うご期待!

9月

### ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 指揮: アンナ・スウコフスカ-ミゴン ピアノ: 牛田智大

日時: 9月5日(金) 開場 18:30 開演 19:00  
会場: 大ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
S席 11,000円 S席(学生) 5,500円  
A席 8,800円 A席(学生) 4,400円  
※未就学児入場不可



牛田智大



©Grzegorz Mart

9月

### ロゼこどもサマーフェスティバル ロゼこどもコンサート

日時: 9月13日(土)  
会場: 中ホール  
※0歳から入場可  
※3歳以上有料。2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料



前回の様子

11月

### ふじ寄席 神田伯山 独演会

日時: 11月8日(土)  
会場: 中ホール



3月

### 人形浄瑠璃文楽

【昼の部】「義経千本桜 道行初音旅」「新版歌祭文」  
【夜の部】近松門左衛門没後300年「曾根崎心中」

日時: 2026年 3月6日(金)  
会場: 中ホール



©青木信二

WEB購入手順

- 1 ロゼシアターホームページ <https://rose-theatre.jp> (24時間対応)
  - 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です
  - 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
  - 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可  
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取
- ※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※購入後の変更・キャンセルはできません

4月

### ロゼこどもスプリングコンサート

日時: 4月12日(土)  
1回目 開場 10:00 開演 10:30  
2回目 開場 12:30 開演 13:00  
会場: 中ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
均一 500円

※0歳から入場可  
※3歳以上有料。2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料

発売日  
WEB: 3月20日(木・祝)  
窓口: 3月21日(金)



前回の様子

4月

### ミュージカル 屋根の上のヴァイオリン弾き

日時: 4月19日(土)・20日(日)  
両日 開場 12:15 開演 13:00  
会場: 大ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
S席 15,000円 A席 11,000円  
※未就学児入場不可

共



製作: 東宝

発売中

6月

### ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート

日時: 6月12日(木)  
午前の部 開場 9:15 開演 10:00  
午後の部 開場 13:15 開演 14:00  
会場: 大ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
均一 500円 ※2階席の一部  
※未就学児入場不可

発売日  
WEB・窓口 5月9日(金)



シエナ・ウインド・オーケストラ

6月

### ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート

日時: 6月26日(木)  
午前の部 開場 9:15 開演 10:00  
午後の部 開場 13:15 開演 14:00  
会場: 大ホール  
入場料: (全席指定・税込)  
均一 500円 ※2階席の一部  
※未就学児入場不可

発売日  
WEB・窓口 5月9日(金)



富士山静岡交響楽団

共・・・ロゼシアター共催事業

# なぜ今も心を揺さぶる？

市村正親が語るミュージカル『屋根の上のヴァイオリン弾き』



世界は変わっても、家族の絆は変わらない。

## ミュージカル 屋根の上のヴァイオリン弾き

台本: ジョセフ・スタイン / 音楽: ジェリー・ボック / 作詞: シェルドン・ハーニック  
オリジナルプロダクション演出・振付: ジェローム・ロビンズ  
日本版演出: 寺崎秀臣 / 日本版振付: 真島茂樹

Toho Co., Ltd. presents

FIDDLER ON THE ROOF

Base on Sholem Aleichem Stories by Special Permission of Arnold Perl

Book by Joseph Stein

Music by Jerry Bock

Lyrics by Sheldon Harnick

Produced on the New York Stage by Harold Prince

Original New York Stage Production

Directed and Choreographed by Jerome Robbins

Original choreography reproduced by Shigeki Majima

Mr. Robbins' Original Direction reproduced by Hideomi Terasaki

FIDDLER ON THE ROOF

is presented through special arrangements with Music Theatre International (MTI), New York, NY, USA.

All authorized performance materials are also supplied by MTI. www.mtishows.com

親から子へ、子から孫へと  
受け継がれる愛と絆の物語

市村正親

鳳蘭

今井清隆

美弥るりか

唯月ふうか

大森未来

神田恭兵

内藤大希

上口耕平

製作: TOHO



ています。観終わったお客さんは、みんな自分の人生を照らし合わせて感じる部分が多いと思います」

また、テヴィエを演じて二十年、その間に役の捉え方に変化があったかについても触れています。「基本的には初演で作りに上げたものが原点にあります。ただ、自分が年齢を重ねるにつれて、人生経験が役に影響を与えています。僕の場合、初演時には子供がいなかったのですが、五九歳の時に初めて子供が生まれました。それ以降は、やはり親としての経験が役にかなり反映していますね。これから子供が結婚期を迎えることになれば親として心配事は増えるでしょうし。自分の経験がテヴィエの役に活かしていると思います」



「最強の女房」と称した鳳蘭さんが、二〇〇九年以来の名コンビで登場します。共演について市村さんは、「ツレちゃんとい僕夫婦はね、はたから見ても非常に良いらしいですよ」と自他ともに認める相性の良さを喜んでいます。

娘役には、宝塚歌劇団出身の美弥るりかさん(長女ツァイテル)、唯月ふうかさん(次女ホーデル)、大森未来衣さん(三女チャヴァ)が扮し、それぞれの恋人役には、上口耕平さん(モーター)、内藤大希さん(パーチック)、神田恭兵さん(フョートルカ)が演じます。

また、娘ほど歳が離れたツァイテルを後妻に迎えたいと申し出る金持ちの肉屋を演じる今井清隆さん(ラザール)とのやりとりもご注目ください。

心に響く名曲の数々と  
ダイナミックな舞台

市村さんは本作の魅力の一つは、心に残る



写真提供/東宝演劇部

名曲だと語ります。「サンライズ・サンセット」は、本当に人生の年輪の話ですよ」と特に印象的な曲として挙げました。日の出と日の入りを通して人生の循環を歌うこの曲は、作品を象徴する曲でもあります。またテヴィエが歌う『金持ちならば』も聞きどころの一つで、貧しさや夢を軽妙に歌い上げています。また結婚式のポトルダンスなど、ダイナミックな群舞シーンも見どころの一つです。

普遍的なテーマが今なお  
心に響く理由

市村さんは、この作品のテーマについても言及しています。「屋根の上のヴァイオリン弾き」と言うのは、お芝居の中でも言っていますが、落っこちたら首が折れそうなのところに居る。なぜそんな屋根の上に居るのって、人生というのはそういうものだということなの

半世紀以上愛され続ける名作が再び

一九六四年にブロードウェイで初演され、日本では一九六七年に森繁久彌さん主演で上演されたこの作品は、六十年以上も観る者の心を掴んで離しません。二〇〇四年から主人公テヴィエを演じている市村正親さんは、今回で七度目となります。新たなキャストを迎え、更に進化させた『屋根の上のヴァイオリン弾き』二〇二五年春、幕を開けます。

帝政ロシア時代を舞台に  
愛と伝統が交錯する

一九〇五年、革命前夜のユダヤ人村アナテフカを舞台に、貧しくも幸せな日々を送る酪農家テヴィエとその家族の物語が展開されます。伝統と変化、親子の絆と個人の自由、そして愛と金の価値観の対立が描かれています。

テヴィエは、信心深く働き者の父親ですが、娘たちの結婚をめぐる騒動を機に、伝統的な価値観が揺らぎ始めます。革命の足音が迫る中で、葛藤や戸惑いを時にユーモアを交えながら演じられています。

市村正親が語る舞台の魅力

市村正親さんは、インタビューで『屋根の上のヴァイオリン弾き』について次のように語っています。「何が名作かというと、親子の話・人間の話・夫婦の話・家族の話といった普遍的なテーマが描かれているからです。物語はアナテフカというある村での出来事ですが、時代が昭和・平成・令和と変わっても、人間は変わらない。AIが出来たりしても基本人間は変わらない。親子の関係とか、その中で起きるいろいろな人生模様を約三時間の舞台の中で、名曲と共に強く訴えかけ

です。それは別にユダヤ人だけの話ではなく、みんなそうだと思います。この作品のテーマは、生き抜くことに尽きます。人生というのは、不安定で困難なものです。それでも生き抜く。そのためには夫婦の愛や親子の絆、仲間の支えといったさまざまな要素が必要です。そんな普遍的な人間のドラマが詰まっています。人生を語るには一つの物語では足りない。その多面性がこの作品の魅力だと思います」

生きることの困難、それでも前を向いて生きようとする人間の姿。それがこの作品の核心にある普遍的なテーマと言えます。

今こそ観たい、愛と絆の物語

激動の時代を生きる現代人にとって、『屋根の上のヴァイオリン弾き』は特別な意味を持ちます。家族の絆、伝統と革新の葛藤、そして何より、困難な状況下でも希望を失わない人間の強さ……これらのテーマは、愛と絆の大切さを再認識し、今を生きる私たちの心に深く響くことでしょう。是非、この機会に劇場でお楽しみください。

文/古谷ゆかり

公演情報

4月19日(土)・20日(日)

開演 13:00 (開場 12:15)

※19日の公演回は、終演後にトークショーを開催!  
登壇予定: 唯月ふうか・内藤大希・神田恭兵

■ロゼシアター大ホール  
■チケット(全席指定・税込)  
S席 15,000円  
A席 11,000円  
※未就学児入場不可

■製作: 東宝 ■主催: テレビ静岡  
■共催: 公益財団法人富士市文化振興財団  
■特別協賛: セキスイハイム東海

# おでかけロゼシアター inまちづくりセンター

令和6年  
11月16日(土)

[午前]富士駅南まちづくりセンター / [午後]青葉台まちづくりセンター

おでかけロゼシアターとは文化会館を飛び出して、地域の会場でコンサートなどを行うアウトリーチ事業です。このコンサートは、県内の若手音楽家の活動の推進と、市民の方に気軽に音楽に触れてもらうことを目的としています。



本事業は令和六年十一月十六日(土)に市内二か所のまちづくりセンターで、コンサートをを行いました。県東部で主に活動する金管アンサンブル団体Eureka Brass(エウレカブラス)から鈴木智弘さん(トランペット)、鈴木美結さん(トランペット)、天野育美さん(ユーフォニアム)が出演し、金管三重奏を

披露しました。金管楽器ならではの華やかな音色がまちづくりセンターに響き渡りました。鈴木智弘さんは昨年度「新人音楽家による演奏会」に出演いただき、そのご縁で今回のコンサートに出演いただくことになりました。

富士駅南まちづくりセンターでは、ご家族連れの方が多く、青葉台まちづくりセンターでは、シニアの方が連れ立ってご来場され、両公演とも小さなお子様から幅広い年代の方々に演奏をお聴きいただきました。徒歩や自転車でご来場された方も多く、近隣の方々にお越しいただきました。



プログラムは、クラシックやアニソン、童謡など幅広いジャンルの曲を演奏し、子どもから大人まで楽しめるコンサートを  
目指しました。アニメ「ちいかわ」よりエンディングテーマ「ひとりごつ」を演奏する際は、楽器をトランペットからギターに持ち替える場面もありました。公演中は自然に手拍子が起きるなど、会場全体で演奏を楽しむ様子が見られました。  
午後の公演では、終演後に会場の外で出演者によるお見送りを行い、ご来場の方から直接、演奏の感想や労いの言葉をいただきました。午前・午後の公演ともに、多くの方に鑑賞いただき、公演を楽しんでいただけました。  
今回の演奏の一部を、ユーチューブ「ロゼシアターチャンネル」にて、公開しています。ぜひ、ご覧ください。今後も、市民の方と距離が近い、気軽に楽しんでいたいただけるアウトリーチ事業を続けてまいります。



## アンケートに寄せられたコメント

**富士駅南まちづくりセンター**  
「日々、仕事や家事、育児で大変な毎日の中、心があたまる素敵な音楽が聴けて感動しました。また演奏会にも足を運んでみたいと思いました。」 20代  
「気軽に子どもと足を運べて、音楽に触れられてよかった。」 40代  
「曲の中での表現力や技術の高さに驚きました。会場の雰囲気もとても良く、観客の一体感も感じる事ができ、とても満足のいく公演だった。」 高校生  
「小さい子どもたちや小さい子ども連れのお父さんお母さんたちには、子どもと一緒に生の演奏を楽しむいい機会だと思う。赤ちゃんを抱いたお父さんが子どもの顔を見ながら音楽に合わせて体をゆすっていて、とても良い光景だった。」 60代

**青葉台まちづくりセンター**  
「近い距離で演奏が聴けてよかった。ユーフォニアムをやっているのが親近感がわいた。」 中学生  
「トランペットのハモリがよく聞こえてよかった。ユーフォニアムの伴奏の支えが安定していて曲に安心感があった。素晴らしい演奏でした。」 10代  
「楽器で動物の鳴き声を鳴らすのが凄いなと思いました。息を吹いているだけだと思っていたら、唇を震わせて吹いていると聞いてすごいなと思いました。こんな近くで素晴らしい演奏が聴けて良かったです。」 60代



## ふじ少年少女芸術劇場 小学校学校コンサート 「サクソフォン四重奏」



ロゼシアターでは「ふじ少年少女芸術劇場」と題し、子どもたちが一流の文化芸術に触れることができるコンサートを継続して開催しています。そのひとつに、小学校の体育館がステージへと変わる「小学校学校コンサート」があります。この企画は市内の小学校を三年で二巡し、子どもたちの目の前へ楽しいコンサートを届けています。

令和六年度はシエナ・ウインド・オーケストラのメンバーによる「サクソフォン四重奏」を招いて開催。十二月に小学校へ訪問した際の様子を紹介します。

子どもたちが体育館に集まり期待でざわざわと中、演奏者がひと吹き演奏を始める。慣れた空間が一瞬でコンサート会場に。今回はマイクによる拡声はない生の演奏です。体育館はホールとは違い反響板なども

ありません。そんな環境の中、たった四人とは思えないその音量に、子どもたちは一気に引き込まれた様子でした。  
馴染みある曲を中心とした「日本の四季メドレー」に始まり、十二月にぴったりのクリスマス・メドレーと演奏が続きます。途中、サクソフォンの楽器紹介ではソプラノからバリトンを見比べて、その大きさの違いに驚きの声があがる一幕も。そのほかクイズなどの参加型コーナーも大盛り上がり。知っている曲が演奏されると大きな声で歌う姿や、アップテンポの曲では自然と手拍子が起こるなど、演奏者と子どもたちが一体となつて楽しむ姿が見られました。

子どもたちから寄せられたコメント

- ♪ほとんど口からはずしてなく、いっしょにうたう感じがしていい。(一年生)
- ♪サクソフォンだけで有名な曲がえんぞうでできていいです。(二年生)
- ♪私もシエナの皆さんみたいに人を笑顔にできる人になりたいです。(四年生)
- ♪低音と高音で深みが出ていて四人で演奏しているとは思えなかったです。(六年生)

四十五分のコンサートはあっという間に最後の曲に。演奏を終えると、子どもたちからアンコールの大合唱をいただきました。シエナの皆さんも、子どもたちが目の前で生の演奏を見聞きし、息遣いまで感じとる姿、楽しむ姿に、元気をもらったようです。来年も小学校にサクソフォン四重奏のメンバーが素敵な音楽をお届けします。



- 《プログラム》  
♪ 日本の四季・メドレー  
♪ クリスマス・メドレー  
♪ 情熱大陸 ほか  
《令和六年度実施校》  
富士第一小学校  
富士第二小学校  
富士南小学校  
元吉原小学校  
岩松北小学校  
岩松小学校  
富士川第一小学校  
富士川第二小学校 松野学園

**シエナ・サクソフォン四重奏**  
榮村 正吾 (ソプラノ・アルト)  
江川 良子 (アルト)  
貝沼 拓実 (テナー)  
大津 立史 (バリトン)

～シエナ・ウインド・オーケストラの公演案内～  
**「少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート」**  
2025年6月12日(木) ロゼシアター大ホール  
富士市の中学2年生を招待して行うコンサート。  
この2階席の一部を一般販売予定です。

# クラシック音楽の不滅の名曲三選



二〇二一年四月から約十四年間にわたって連載してきた「ロゼ・クラシックカフェ」もいよいよ最終回。最後にお届けするのは、案内人・浦久俊彦がおすすめる、クラシック音楽・不滅の名曲三選と、それにまつわる楽器の小さな物語です。

## ヴァイオリンとバツハ『シャコンヌ』

ヴァイオリンは、ヨーロッパが生んだ奇跡の楽器です。現存する最古のヴァイオリンは、いまから約四六〇年前のもですが、当時から現在にいたるまで、ヴァイオリンは形

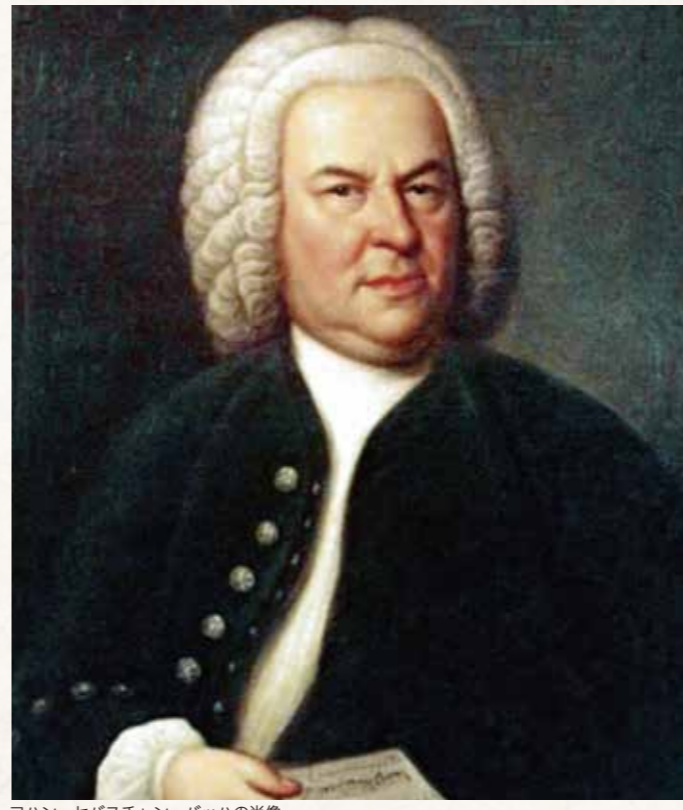
状も材質もほぼ変わっていません。つまり、まさに誕生したときに完成していた楽器なのです。構造的にみれば、約三十の木材を主な材料とする部品によって組み立てられただけの、いわば単純な楽器ですが、十六世紀から十八世紀にかけて、北イタリアのクレモナという小さな街に工房を構えた、ごくわずかな職人たちがつくった、いわゆる「クレモナの名器」を凌駕する楽器を、

五二七五〇の『シャコンヌ』（無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第二番終曲）を選びたいと思います。バツハは、たった四本の弦で、新大陸（ペルー）を起源にもつ、この快活な舞曲を芸術的な洗練の極致にまで高め、とてつもなく壮大な音楽宇宙を描き出したのです。

## ピアノとショパン『舟歌』

ピアノは十九世紀ヨーロッパを象徴する楽器です。でもピアノはたんなる楽器ではありません。少なくとも十九世紀のブルジョワ家庭では、ピアノは裕福のシンボルであり、趣味のよさのシンボルでした。彼らのサロンは、豪華な内装と家具だけではなく、豪華なグランド・ピアノがそこに備わっ

てこそ完成したといえるのです。当時、マホガニーの美しい木目や、十八世紀様式の猫足など、装飾が施されたピアノが大量につくられたのは、ブルジョワ家庭にとって、ピアノはたんなる楽器ではなく、贅を尽くした調度品でもあったからです。西欧の歴史ではじめて、それまでの楽器のように工房で「製作される」楽器となったピアノは、膨張するヨーロッパ経済を支える巨大な「夢の箱」でした。十九世紀ヨーロッパ栄光の象徴「ピアノ」の詩人と呼ばれ、ピアノという楽器に生涯を捧げたフレデリック・ショパン（一八一〇―一四九）の作品を選びたいと思います。なぜなら、ショパンの偉大さは、たんにピアノ音楽の



ヨハン・セバスチャン・バツハの肖像



フレデリック・ショパンの肖像



ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルトの肖像

傑作を数多く作曲しただけでなく、ピアノ音楽という概念そのものを生み出したことにあるからです。ショパンが書いた音楽のなかで、ピアノが登場しない作品はただの一曲もなく、そのほとんどが傑作ですが、ここではあえてその晩年の大作であり、彼が書いた唯一の『舟歌』をあげたいと思います。ここには、ピアノという楽器でなければ表現できない叙情性、たゆたうような律動、そして感動的な音楽美があふれています。

## 人間の歌とモーツアルト『アヴェ・ヴェルム・コルプス』

最後に登場する楽器は、人間の「声」です。クラシック音楽と切り離せないキリスト教の宗教音楽的伝統をたどると、ただ人間の声だけが「神のことば」を発することができ、唯一の楽器であるとして、あらゆる器楽の演奏を禁じた初期キリスト教父ヨハネス・クリュストモス（四世紀）にたどりつきます。この典礼をいまだに伝統として守る東

長らく「ロゼ・クラシックカフェ」のご愛読ありがとうございました。次号より浦久俊彦の新コラム連載開始!どうぞ期待ください!

「ロゼ・クラシックカフェ」のバックナンバーはロゼシアターウェブサイトからお楽しみいただけます

方教会では、いまも教会における楽器の使用を禁じ、聖歌はすべて無伴奏で歌われています。その「人間の声」のために書かれた不滅の一曲として、ぼくが選ぶのは、モーツアルトの『アヴェ・ヴェルム・コルプス』です。この作品は、クラシック音楽史上最高の天才ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト（一七五六一―一七九一）が亡くなる数ヶ月まえに、彼の妻コンスタンツェが療養していたバーデンで世話をしてくれた合唱指導者アントン・シュトルへの贈り物として書かれました。演奏時間わずか五分のこの小さな作品は、人間がもつとも神に近づくことができた音楽だと、ぼくには思えます。この宝石のような透きとおった音楽のなかに、人間が「声」という神から与えられた楽器にこめることのできるすべてがあることと感ずるのです。これまで長い間ご愛読いただき、どうもありがとうございます。

浦久俊彦

主な参考文献  
『138億年の音楽史』 浦久俊彦著、講談社  
『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト パガニーニ伝』 浦久俊彦著、新潮社  
『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』 浦久俊彦著、新潮社

浦久俊彦 (うらひき としひこ)  
文筆家、文化芸術プロデューサー。愛知県教育委員会教育アドバイザー、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか（指揮者・山田和樹との共著）』（アルテスパブリッシング）など。最新刊は『リベラルアーツ〜遊びを極めて賢者になる』（集英社インターナショナル）。

## Pick up vol.5 リハーサル室

### 日々の練習に最適な場所がここに

リハーサル室は、防音性に優れた広々とした空間。中ホールの舞台と同程度の間口※があり、壁一面の鏡で立ち位置や動きを確認できます。ピアノや音響設備も備え、ダンス、音楽、演劇など、多彩な活動が行われます。日々の練習をさらに充実させてみませんか？



※間口：舞台の横幅

## プレゼントのご案内

### Aコース 公演チケット1組2名様

対象公演：『屋根の上のヴァイオリン弾き』(A席)  
4月19日(土) 13:00開演

### Bコース レストラン「ロゼテラス」お食事券(1,000円分) 2名様

■応募方法：はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号・希望プレゼントを明記し、下記アンケートにご回答のうえご応募ください。

- ① 情報誌を入手した方法または場所
- ② 情報誌で面白かった内容、ページ
- ③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先：〒416-0953 富士市夢原町1750番地  
ロゼシアター「情報誌ロゼ131号」プレゼント係

■締切：4月7日(月)必着

※当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
※ご応募はおひとり様1件まで(重複がある場合はすべて無効)

### 休館日のお知らせ

4月21日(月)  
5月19日(月)  
6月9日(月)

### 編集後記

令和6年度が終わりを迎え、次年度がもうすぐ始まります。令和7年度の事業はボリュームが凄いです！皆様にご来場いただけるよう、職員一同頑張ってお準備を進めています。お楽しみに！(松)

本誌は2月15日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ <https://rose-theatre.jp> ■X「ロゼシアター公式アカウント」@rose\_staff\_fuji ■YouTube「ロゼシアターチャンネル」 ■LINE ロゼシアター【イベント】

## ふじ・紙のアートミュージアム

### 榎あさ美 展

観覧無料

開催期間：2025年4月7日(月)～6月29日(日)  
開館時間：10:00～18:00

休館日  
4月21日(月)、5月19日(月)、6月9日(月)  
\*ロゼシアター休館日に休館

□日程など変更する場合がございます。  
□詳細はWebsite・Facebook・Instagramをご参照いただくか、お電話にてお問合せください。

### ふじ・紙のアートミュージアム

〒416-0953 静岡県富士市夢原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター内(1階東側奥)  
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>



## レストラン「ロゼテラス」

### 期間限定メニュー

<3月1日から5月30日まで>

\*パンチェッタと春野菜の  
ペペロンチーノ  
春キャベツのザワークラウト  
を添えて

1,580円



- ビーフシチューのオムライス 1,850円
- ボルチーニクリームパスタ 1,850円
- 炭火焼鳥と彩り野菜のオムライス 1,580円
- アスパラとベーコンのアラビアータ 1,500円
- ツナと木の子の和風パスタ 1,480円

◆営業時間 11:00～15:00(ラストオーダー14:30)

◆場所 2階レストラン(ロゼテラス)

◆お問合せ ロゼテラス TEL 0545-60-2727

※当面の間は月曜休店・ランチ営業のみ。  
詳細は「ロゼテラス」ホームページをご覧ください。



# FLASH BACK

フラッシュバック  
2024年11月  
～2025年1月

終了したロゼシアター主催・共催事業の様子をお届けします！2024年11月～2025年1月をフラッシュバック！！

## 劇団四季ミュージカル 11月9日(土) 18:00開演 『ジーザス・クライスト=スーパースター』 [エルサレム・バージョン]

- 熱量が高く素晴らしいです。人体の躍動がうねりとなりスーパースターを生み出す熱量に圧巻されました。(30代)
- 原曲にとっても忠実に歌っていることに感激した。迫力があり感動した。(60代)
- 素晴らしい歌声、素晴らしい体力、さすが四季！(70代)



## クリスマスオーナメント制作ワークショップ 11月10日(日)

- 自分で自由に選べたのが楽しかった。家ではなかなかできないので、ここでやれてうれしかった。(小学生)
- こんな短時間で親子で夢中になって取り組めて、おまけに家に持ち帰れて、ロゼシアターにも見に来られるなんて、大満足のイベントでした。(40代)
- いろいろな子どもたちと関わることでいい刺激になったと思います。またこのようなワークショップがあったら参加したいと思いました。(30代)



## シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会

11月24日(日) 15:30開演

- 普段聴いている音楽の新たな魅力に出会って面白かったです。(20代)
- ゲームやアニメの有名な曲から吹奏楽の課題曲や野球の応援歌と色々なジャンルの曲がとても高いクオリティで聴けて、いい刺激になりました。(高校生)
- たくさんいい演奏が聴けました。演奏に参加もできて楽しかったです。(中学生)



## フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

12月10日(火) 19:00開演

- 曲の変化があっても面白かったです。クラシックの中にユーモアがあっても楽しく感じました。(40代)
- はじめの一番からクオリティの高さに圧倒されました。(50代)
- 民謡風あり、ジャズ風あり、ポップス風あり、もちろんクラシックも、とても楽しそうに演奏していて、音色に癒されました。(60代)



## ピアノ・モノポリー

12月11日(水)・12日(木)・16日(月)

- 音がすごくよかったです。3時間ずっと弾いていて楽しかった。またやりたいと思った。(高校生)
- ホールの響きが最高でした。(40代)
- ホールもピアノも素晴らしかったです。(60代)

## 「新春富士ニューイヤーコンサート」 富士山静岡交響楽団

1月26日(日)  
14:30開演

静岡県内唯一の常設のプロオーケストラとして毎年開催されているコンサートに、今年も多くのお客様がご来場されました。



## 三枝成彰のレクチャーコンサート クラシックは凄い! vol.3

1月31日(金) 19:00開演

- バロック、ロマンとそれぞれの良さが出ていて良かったです。(70代)
- YouTubeなど動画で見られるものは多いけれど、やはり生演奏の迫力にはかなわないなと思った。(40代)
- 演者の息遣いがかかるような席で聴けたことに満足。(60代)

